



2025 年総会を 6 月 14 日 (土) に瓦町フラッグで開催しました。会員やボランティアが参加し、事業報告、収支報告などを行い、2024 年度事業及び決算が承認されました



総会後、田村美津子理事がアフリカ・マラウイ支援の現地報告を行いました。



6 月 28 日、29 日の 2 日間、「フェアトレードフェスタ in さっぽろ 2025」に出店しました。昨年に引き続き、今年も北海道 YMCA さんと共同出店し、北海道 YMCA さんはベトナムの障がい者施設で作られたビーズキーホルダー、セカンドハンド北海道はカンボジアの女性達が作ったクラフト品を販売しました。出店していると、昨年のフェアトレードフェスタで購入したポーチが、鮮やかな色が気分が上がるし、縫製がしっかりしていてとても使い勝手がよかったと、再度購入に来てくださった方、友人が持っていて使いやすいと聞いたので買いに来たという方もいらっしやり、とても嬉しかったです。ありがとうございました。



3 月～ 5 月までの 3 ヶ月間にご寄付をくださった方々です。【順不同・敬称略】

青野千恵子、安岐麗子、伊賀憲子、池内保、磯部芳治、上田瞬介、太栗啓子、大田千恵美、岡本洋功、小笠寛幸、奥谷照榮、柏原裕美、片山積、加藤昭彦、亀山誠子、川崎多恵子、喜多克幸、清田和江、グレン マンスフィールド キニ、黒田好子、吳妙専、小竹由美子、小林規子、斎藤雪江、四国装備樹今井里美、渋谷光子、清水博子、清水勉、下地初子、白川ふみ、末澤一誠、榊夢葉房たから、高松東高校マンガ研究部、武本美代子、谷森裕子、谷澤知美、俵恵美、塚田泰代、中澤力、西川亜里、西川三枝子、沼田章、のぞみ総合法律事務所、蓮井孝夫、花岡義美、福島玲奈、真嶋由岐夫、街角ギターフェス香川実行委員会、三木佳子、美濃吉広、三原主幹、宮本明宜、村上和代、横田千春、吉田正強、吉本房子、若杉淳子、綿邊亜弥

本部・高松店 お盆休み：8/9(土)～8/17(日)

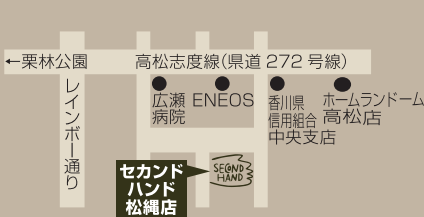
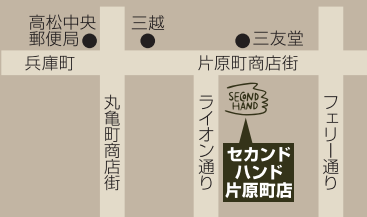
〒760-0055 高松市観光通1-1-18
TEL：087-861-9928
営業時間：月～金 10時～16時
定休日：土曜、日曜、祝日

片原町店 お盆休み：8/10(日)

〒760-0040 高松市片原町9-1
TEL：087-822-3552
営業時間：月～金 10時～18時
土・祝日 10時～17時
定休日：日曜

松縄店 お盆休み：8/10(日)～8/15(金)

〒760-0079 高松市松縄町37-5
TEL：080-4999-0494
営業時間：月～水、金・土 11時～18時
定休日：木曜、日曜、祝日



セカンドハンドは「チャリティショップ」と呼ばれるお店を運営し、その収益でカンボジアの支援をしています。

公益社団法人セカンドハンド 〒760-0055 香川県高松市観光通 1-1-18 TEL&FAX 087-861-9928
✉ jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://2nd-hand.main.jp/sh/



あなたの手を、世界の誰かに。

Sambot

セカンドハンド通信

2025 July

Vol.

121

マラウイ商品を紹介します!!

セカンドハンドは、2020年よりアフリカ・マラウイ共和国の現地連携団体 OAU(Orphan Affairs Unit)&スカイキッズアカデミーを通じて、女性の自立支援や貧困家庭(こども)の支援を行っています。女性の自立支援として、現地のナミテテ母親手芸グループが手縫いで制作した布製品を片原町店で販売しています。カラフルなアフリカ柄を使ったポーチやコースター、帽子、ショルダーバッグを是非店頭で手に取って、ご覧ください。



Contents

ボランティア紹介

高校生ボランティア紹介

セカンドハンド・ユースの活動紹介

2025 年総会

Network

Special Thanks

SECOND
Charity shop
チャリティ
ショップ

ボランティア 紹介

高松店でお店番のお手伝いをしてくださっているボランティアの長松さんをご紹介します。

ボランティアになったきっかけは？

30年前にセカンドハンドができて、高松ではじめて社会貢献ができる場所があると知って応募してみました。子育てや親の介護があって一時期、ボランティアを離れたこともありましたが、それも一段落し7年前に復帰して、またボランティアをするようになりました。

続けてこられた思いは？

お店はお年寄りの方々にとって、話をしたり、いろいろな商品を見たり触れたりする場所になっています。そんな、ふらりと立ち寄れる場所づくりに貢献していると思います。たくさんのお客さまとの、おしゃべりも楽しみです。お客さまからの思いやりも感じられるし、誰かのために動きたい、活動したいという思いで、長くボランティアを続けてこられたのかなと思います。



セカンドハンド30周年を記念して作られたTシャツ。「ブルーの色がお気に入りです」とおっしゃる長松さん

ボランティアを通してどんな経験をされましたか？

30年前にボランティアを始めた頃は、ボランティアという言葉がまだ浸透していない時代であったため、暇つぶしのように言われたこともありましたが、だんだん普及し喜ばれるようになりました。また、当初はお店の場所を何回も引っ越すなど大変なこともありましたが、スタッフやボランティアが助け合って運営し乗り越えてきました。



ボランティアスタッフ募集

セカンドハンドでは、チャリティショップの運営をボランティアスタッフの皆さんにご協力頂いています。お陰さまで今年設立31年目を迎えましたが、長く続けてこられたのは、お店番や倉庫作業、運搬など、たくさんの方々がショップの運営を支えてくださっているからです。これからも多くの方のご協力をお願いできると助かります。特に接客や商品の陳列、レジなどのお手伝いができるかなと思っていらっしゃる皆さん、ぜひ仲間になってみませんか？1時間からでもいいのでご参加お待ちしております。



Human
Resources
Development
人材育成

高校生ボランティア 紹介

セカンドハンドでは、県内の高校に毎月イベント・ボランティア情報を送付しています。バザーの商品の運搬や設営、店番などのボランティア活動を高校生に手伝ってもらっています。また、高校からの要請による職場体験活動の受け入れも行っています。国際協力やSDGsに繋がる活動や学びの機会を提供しています。5月、高知県から高校1年生がお休みを利用してボランティアに来てくれました。値付け、品出し、店番、値札作りを体験してもらいました。県外から高校生のボランティアの受け入れはとても珍しいです。高校生と一緒に作業するのは、ボランティアさんたちにとっても楽しいようで喜んでもらえました。



セカンドハンド・ユースの活動紹介・メンバー募集！！

セカンドハンド・ユースは、世界が抱える問題に関心を持ち、問題解決のために行動できるよう、募金活動や勉強会等を行っています。現在はカンボジアのセンソック地域に暮らす学生の奨学金の支援を行っています。毎月1回程度、高松中央郵便局前で募金活動を実施しています。ボランティアへの参加はInstagramなどを通してご連絡をお願いしています。現在、セカンドハンドユースで活動しているのは高校3年生のみです。新しく一緒に活動するメンバーを募集しています。香川県に在住の高校生または大学生で興味のある方は、是非、参加してみませんか？

セカンドハンドユース 代表 藤枝寛太

